



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL <https://www.istyle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副会長CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(6161)3660
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	15,038	20.8	762	107.1	839	140.5	603	252.0
2024年6月期第1四半期	12,449	35.3	368	55.4	349	120.5	171	69.1
(注) 包括利益	2025年6月期第1四半期 283百万円(6.8%)		2024年6月期第1四半期 265百万円(—%)					
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2025年6月期第1四半期	7	65	5	12				
2024年6月期第1四半期	2	23	1	47				

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	30,039	12,533	37.5
2024年6月期	28,141	12,187	39.0
(参考) 自己資本	2025年6月期第1四半期 11,265百万円	2024年6月期 10,979百万円	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2025年6月期	—					
2025年6月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	64,000	14.1	2,400	23.7	2,400	39.4	1,600	31.8	20	31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年6月期1Q	81,463,593株	2024年6月期	81,463,593株
2025年6月期1Q	2,693,617株	2024年6月期	2,693,567株
2025年6月期1Q	78,769,982株	2024年6月期1Q	76,870,026株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、2024年8月に発表しました中期事業方針に基づき、リテール事業（EC・店舗）の拡大を通じてユーザーとの接点やデータを増やし、それらをマーケティング支援事業（BtoBサービス）でマネタイズすることで、中期事業目標である連結売上高1,000億円、連結営業利益80億円の達成を目指しております。

今期2025年6月期は中期事業方針の初年度として、マーケティング支援事業におけるソリューションの拡充やデータドリブンソリューション等の新サービス開発、リテール事業での更なる店舗網の拡大とプラットフォーム連携によるEC成長、さらに、グローバル事業の黒字化を計画しています。

当第1四半期連結累計期間における業績は以下の通りです。

売上高におきましては、国内で展開しているマーケティング支援事業及びリテール事業が業績を牽引し、前年同期比で20.8%の増収となりました。特に、リテール事業がEC・店舗ともに成長したことで、前年同期比28.7%の増収を記録しました。

営業利益におきましては、売上高と同様にマーケティング支援事業及びリテール事業が増益に寄与し、人材関連費用の増加等を吸収して107.1%の増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	15,038百万円	(前年同期 12,449百万円 / 前年同期比 20.8%増)
営業利益	762百万円	(前年同期 368百万円 / 前年同期比 107.1%増)
経常利益	839百万円	(前年同期 349百万円 / 前年同期比 140.5%増)
税金等調整前四半期純利益	839百万円	(前年同期 355百万円 / 前年同期比 136.4%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	603百万円	(前年同期 171百万円 / 前年同期比 252.0%増)

① マーケティング支援事業

当セグメントには、当社が運営するコスメ・美容の総合サイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした、化粧品ブランド向けの広告ソリューションやMarketing SaaS（ブランドオフィシャル）が属しております。

売上高におきましては、ソリューション価値の浸透により需要期における取引単価が増加したことで、前年同期比で9.8%の増収となりました。

営業利益におきましては、増収寄与が人材関連費用等の増加を上回ったことや、リテール事業からの@cosme商標に関するライセンス料による利益計上（セグメント間取引）により、36.8%の増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,298百万円	(前年同期 2,094百万円 / 前年同期比 9.8%増)
営業利益	662百万円	(前年同期 484百万円 / 前年同期比 36.8%増)

② リテール事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme SHOPPING（アットコスメショッピング）」、化粧品専門店「@cosme STORE（アットコスメストア）」等の運営をしており、国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

売上高におきまして、ECでは、引き続きプラットフォーム連携による新規顧客の獲得や、リテールイベントにおいて獲得したユーザーの定着化により、28.8%の増収となりました。店舗では、前期オープンした大阪の大型旗艦店「@cosme OSAKA」が前期1ヵ月計上に対して今期は3ヵ月計上であることや、既存店舗の成長及び改装効果が寄与したことで、28.7%の増収となりました。結果として、セグメント全体では28.7%の増収にて着地しました。

営業利益におきましては、改装店舗における閉店期間内の費用や、マーケティング支援事業に対するライセンス料の支払い（セグメント間取引）があったものの、増収貢献が費用増を吸収して、38.3%の増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	11,354百万円	(前年同期 8,820百万円 / 前年同期比 28.7%増)
営業利益	714百万円	(前年同期 517百万円 / 前年同期比 38.3%増)

③ グローバル事業

当セグメントには、日本国外で展開するEC・卸売、店舗、メディア等のサービスが属しております。

売上高におきましては、依然厳しい市場環境を鑑み販売戦略を見直した中国越境ECや、現地の個人消費が冷え込んでいる香港店舗の影響によりセグメント全体で前年同期比9.3%の減収となりましたが、今期戦略に基づき利益率の高いBtoBサービスに注力したことで、韓国事業が日本進出支援によって増収となり、メディアサービスの成長を牽引しました。

営業利益におきましては、利益率の高いBtoBサービスの増収によって韓国事業が黒字化し、前年同期比で赤字幅を縮小しての着地となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	999百万円（前年同期 1,101百万円 / 前年同期比 9.3%減）
営業損失（△）	△14百万円（前年同期 △65百万円）

④ その他事業

当セグメントには、美容部員を派遣する人材派遣事業と、ユーザー向けのBtoC課金サービス、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

売上高におきましては、人材派遣事業における一部サービスの終了を受け、前年同期比で10.8%の減収となりました。

営業利益におきましては、減収した一方で、人材派遣事業において比較的収益性の高い案件の維持により前年同水準での着地となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	387百万円（前年同期 434百万円 / 前年同期比 10.8%減）
営業利益	61百万円（前年同期 60百万円 / 前年同期比 1.8%増）

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,899百万円増加し、30,039百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,850百万円増加し、18,334百万円となりました。これは主に、現金及び預金が928百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が116百万円、商品が824百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、11,705百万円となりました。これは主に、のれんが129百万円減少したものの、有形固定資産が154百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,553百万円増加し、17,506百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ4,373百万円増加し、12,610百万円となりました。これは主に、短期借入金が450百万円減少したものの、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が4,000百万円、支払手形及び買掛金が1,190百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ2,820百万円減少し、4,897百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,570百万円増加したものの、転換社債型新株予約権付社債が4,000百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ346百万円増加し、12,533百万円となりました。これは主に、資本剰余金が2,811百万円、為替換算調整勘定が243百万円減少したものの、利益剰余金が3,414百万円、新株予約権が115百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期通期の連結業績予想につきましては、2024年8月14日の決算短信で公表いたしました内容から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,762	6,690
受取手形、売掛金及び契約資産	4,646	4,762
商品	4,217	5,041
営業投資有価証券	1,070	993
その他	796	857
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	16,484	18,334
固定資産		
有形固定資産	1,762	1,916
無形固定資産		
のれん	1,223	1,094
ソフトウェア	1,697	1,642
その他	652	791
無形固定資産合計	3,572	3,527
投資その他の資産		
投資有価証券	3,557	3,536
敷金及び保証金	1,814	1,826
その他	982	932
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	6,322	6,263
固定資産合計	11,656	11,705
資産合計	28,141	30,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,711	3,901
短期借入金	450	—
1年内返済予定の長期借入金	758	1,198
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	4,000
未払法人税等	326	153
賞与引当金	424	234
その他	3,568	3,124
流動負債合計	8,237	12,610
固定負債		
長期借入金	3,185	4,756
転換社債型新株予約権付社債	4,000	—
その他	531	141
固定負債合計	7,717	4,897
負債合計	15,953	17,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,719	5,719
資本剰余金	3,662	851
利益剰余金	507	3,920
自己株式	△280	△280
株主資本合計	9,607	10,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87	14
為替換算調整勘定	1,284	1,041
その他の包括利益累計額合計	1,371	1,055
新株予約権	1,011	1,125
非支配株主持分	198	142
純資産合計	12,187	12,533
負債純資産合計	28,141	30,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	12,449	15,038
売上原価	6,837	8,260
売上総利益	5,612	6,778
販売費及び一般管理費	5,244	6,016
営業利益	368	762
営業外収益		
受取利息	3	2
為替差益	1	39
持分法による投資利益	25	32
その他	11	19
営業外収益合計	39	92
営業外費用		
支払利息	12	12
投資事業組合運用損	3	1
遊休資産諸費用	42	—
支払手数料	1	—
その他	0	1
営業外費用合計	58	14
経常利益	349	839
特別利益		
固定資産売却益	6	—
新株予約権戻入益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
負ののれん発生益	0	—
特別利益合計	6	0
税金等調整前四半期純利益	355	839
法人税等	168	231
四半期純利益	188	609
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	171	603

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	188	609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△49
持分法適用会社に対する持分相当額	18	△24
為替換算調整勘定	54	△252
その他の包括利益合計	78	△325
四半期包括利益	265	283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249	287
非支配株主に係る四半期包括利益	16	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

当社は、2023年8月付で、連結子会社Glowdayz, Inc.の株式を追加取得いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が1,148百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,410百万円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

当社は、2024年8月20日開催の取締役会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を2,811百万円減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替えております。また、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を2,811百万円減少させ、同額を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填を行っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が851百万円、利益剰余金が3,920百万円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注) 2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (百万円)
	マーケテ ィング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバル 事業 (百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財 又はサービス	—	8,820	914	9,734	—	9,734	—	9,734
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	2,094	—	187	2,281	434	2,714	—	2,714
顧客との契約から生じる 収益	2,094	8,820	1,101	12,015	434	12,448	—	12,448
その他の収益	—	—	—	—	0	0	—	0
外部顧客への売上高	2,094	8,820	1,101	12,015	434	12,449	—	12,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	169	16	0	185	7	193	△193	—
計	2,263	8,836	1,101	12,200	441	12,641	△193	12,449
セグメント利益又は損失 (△)	484	517	△65	936	60	995	△628	368

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△628百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△628百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注) 2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (百万円)
	マーケ ティング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバル 事業 (百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財 又はサービス	—	11,354	783	12,138	—	12,138	—	12,138
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	2,298	—	216	2,514	387	2,901	—	2,901
顧客との契約から生じる 収益	2,298	11,354	999	14,651	387	15,038	—	15,038
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,298	11,354	999	14,651	387	15,038	—	15,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	338	18	—	355	11	366	△366	—
計	2,636	11,372	999	15,007	398	15,404	△366	15,038
セグメント利益又は損失 (△)	662	714	△14	1,362	61	1,423	△662	762

- (注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△662百万円は、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△661百万円であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	427百万円	391百万円
のれんの償却額	51百万円	51百万円